

平成29年度 医学部・看護学部

新入生学外合宿活動報告書

縮小版

大阪医科大学



平成29年4月7日（金）～ 4月8日（土）

淡路夢舞台

- ・ 国際会議場
- ・ ウェスティンホテル 淡路

## ◆ プログラム ◆

平成 29 年 4 月 7 日(金) [1 日目]

淡路夢舞台(国際会議場)に到着後、国際会議場 B1F「イベントホール」に荷物(貴重品以外)を置き、着席

救急の実習があるので、動きやすい服装をしておくこと

○13:00－14:00

<開会式・学生生活を始めるにあたって> 国際会議場 B1F「イベントホール」

【司会進行】医学学生生活支援センター長 佐浦 隆一 先生(リハビリテーション医学・教授)

<導入・アイスブレイク> 国際会議場 B1F「イベントホール」

【司会進行】澤村 律子 先生(保健管理室・講師(准))

○14:00－16:00

<救急蘇生体験学習(講座・実習)> 国際会議場 2F「メインホール」

【講 師】西本 泰久 先生(大阪ライフサポート協会・理事長)

○16:00－16:10

<移動・休憩>

救急蘇生体験学習が終わり次第、学生は全員一度 B1F「イベントホール」へ移動し、グループ討論の会場が国際会議場 2F「レセプションホール B」の学生は、各自荷物を持って「レセプションホール B」へ移動。

○16:10－18:30

<グループ別討論> 国際会議場 B1F「イベントホール」、2F「レセプションホール B」

『医学生・看護学生の手引き(講義・実習版)をつくろう!』

【テーマ】

“より良き医療人になる”という目標を叶えるための自らの抱負や目標、守るべき事項(自らが課す約束事)などをまとめて、これからの学生生活を有意義に送るための自分たちの手引き(マニュアル)を創ってください。

※グループ別討論会場は2つに分かれているので、各自会場を確認しておくこと

※上記テーマについてグループでディスカッションし、ポスターにまとめる。

○18:30－19:00

<ホテル(ウェスティンホテル 淡路)へ移動>

**ホテル客室のルームキーの受け取り、チェックイン**

ポスターが完成した学生よりホテル客室へ移動

≪代表者が受付にて、グループ別討論会のポスターを提出する≫

→ 国際会議場 2F 受付でホテル客室のルームキー受け取り

→ それぞれ、指定の客室へ移動

荷物を客室に置き次第、懇親会会場へ移動

○19:00－20:30

<懇親会(夕食)> ウェスティンホテル 淡路 1F 大宴会場「ステラ」

※参加者相互の理解と親睦を深める

【司会進行】齊藤 昌久 先生(リハビリテーション医学・准教授)

瓜崎 貴雄 先生(看護学部精神看護学領域・講師)

『開会の挨拶:学長(医学部長) 大槻 勝紀 先生』

『閉会の挨拶:看護学部長 道重 文子 先生』

**懇親会終了後、諸連絡**

○20:30－21:00

<グループ別討論のポスター投票> ウェスティン淡路 1F 大宴会場前

他のグループのポスターを見て、グループごとに4グループまで投票

○21:00－

<各自 自由時間>

**■24:00 消灯■**

平成 29 年 4 月 8 日(土) [2 日目]

**■ 起床 ■**

○7:00－8:20

<朝食> ウェスティンホテル 淡路 1F 大宴会場「ステラ」  
大宴会場「ステラ」7:00～ドアオープン  
(座席は、前日の懇親会と同様)

<チェックアウト> 国際会議場 2F 受付  
8:00～ チェックアウト(ルームキー返却)開始

8:30 までに朝食、チェックアウト(各部屋ごと)を済ませ、発表討論会場に着席。  
※チェックアウト後はホテル客室に戻ることができませんので、忘れ物がないか確認し、荷物を持って国際会議場 2F 受付までお越しください。

○8:30－11:30

<発表討論会> 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】看護学学生生活支援センター長 吉田 久美子 先生(公衆衛生看護学・教授)  
齊藤 昌久 先生(リハビリテーション医学・准教授)

【総 評】小野 富三人 先生(生理学・教授)

○11:30－11:45

<集合写真撮影> 国際会議場 1F「エントランスロビー」

○11:45－12:45

<昼食> 国際会議場 2F「メインホール」

集合写真撮影終了後、お弁当を各自受け取り、発表討論会と同じ席に着席

※忘れ物がないか確認をしておく。貴重品など手元に必要な荷物は分けておくこと。

○12:45－13:00

<閉会式> 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】看護学学生生活支援センター長 吉田 久美子 先生(公衆衛生看護学・教授)

各学部、総代、副総代の紹介

閉会式後、誘導に従い順次バスへ移動

■13:00 頃 淡路夢舞台(国際会議場)出発予定■

■15:00 頃 新大阪(南口駐車場)到着予定■

バス到着次第、各自解散。

# 医学生・看護学生の手引き(講義・実習版)をつくろう！

## より良き医療人を目指す諸君の

### 大阪医科大学での講義・実習に対する期待と抱負を聞かせてください！！

#### 【グループワークの趣旨】

1. 将来どのような医療人(医師・看護師など)になりたいか？を考えてください。
2. なりたい医療人に近づくためには、学生生活をどのように過ごしていけばよいでしょうか？
3. そのための方策を教えてください。また、講義や実習に対して、皆さんが期待することを教えてください。
4. そして、期待する講義・実習に対する皆さんの抱負や意気込み、自らが課す約束事などをグループでまとめてください。

“より良き医療人になる”という漠然とした目標を具体的なイメージに落とし込み、そのために“自分自身は、何をどうしていくのか？”、“講義や臨床実習に何を求めるか？”を考えてください。

“より良き医療人になる”という目標を叶えるための自らの抱負や目標、守るべき事項(自らが課す約束事)などをまとめて、これからの学生生活を有意義に送るための自分たちの手引き(マニュアル)を創ってください。

#### 【ポスター作製の方法】

グループごとに分かれて、各人が目指す“より良き医療人になる”ための準備(講義・実習など)に対する期待と抱負をまとめて、“有意義な学生生活を送るための医学生・看護学生のための手引(講義・実習版)”を作成してください。

#### ＜グループワークの進め方＞

##### ①役割を決める。

1. 司会進行係
2. 発表者
3. 書記(ディスカッション中)
4. タイムキーパー
5. ポスター清書係

②“より良き医療人”の具体的なイメージを述べる(例:1分間スピーチ)。

③そのために、自分自身はどのような学生生活を過ごしていくかを述べる(例:次の1分間スピーチ)。

④そのために、どのような講義や実習を期待するのかを述べる(例:最後の1分間スピーチ)。

(たとえば)

- ・抽象的でもいいので、講義・実習に期待すること(わくわく、どきどき?)
- ・シラバス(講義予定表)に記載されている講義・実習に対して期待する内容・講義・実習を有効に活用するための方策・講義・実習を有効に活用したかどうかを教員に評価してもらう方法など
- ・シラバスにはないが、必要と考え、新しく開設を期待する講義・実習の科目など

⑤期待する講義や実習を有効に活用するための抱負をまとめて、“有意義な学生生活を送るための医学生・看護学生のための手引き(講義・実習版)”を作成する。

## ＜ブレインストーミングのやり方＞

ブレインストーミングとは、頭を嵐のように回転させて自由なアイデアを出すというものです。次の4つの原則に基づいてグループワークを行ってください。

- ①はじめに各人が意見を出す。
  - 1人ずつ意見を言っていく
- ②出た意見を全てカテゴリー別に分類してみる。
  - 1枚の紙に一つの意見を書く(1人3枚以上書く)など
- ③追加の意見を出す、内容を検討する。

### 『ブレインストーミングの4原則』

- ・批判厳禁(他人の意見を否定してはいけません)
- ・自由奔放(どんな突飛な意見でも構いません)
- ・質より量(発言、アイデアは多ければ多いほどよい)
- ・便乗歓迎(他人の意見をちょっと変えただけの意見も大歓迎)

なお、ある程度、アイデアが出そろったら、「批判解禁」して、使える意見の選別、また、意見の整理を行う。

ブレインストーミングを行なうことによって

- ①どんな意見が多いか、傾向が分かる。
- ②少数派意見も拾える。
- ③似たような内容であったとしても、言葉の使い方や表現方法の選択肢が広がる。
- ④全体のイメージが共有できる。

## ＜グループとしての意見をまとめる前に＞

メンバー全員が十分に意見を出し尽くしたか？

- ・自由奔放に意見が言い合えたか？
- ・遠慮はなかったか？
- ・まだ発言していない人はいないか？

多数決で決めようとしていないか？

- ・少数意見を尊重したか？
- ・1つひとつの意見を吟味したか？

理由は明確か？

- ・声の大きい人の意見に引きずられていないか？
- ・本当に納得できる理由か？
- ・〇〇がそう言っていたから、〇〇にそう書いてあったから、という安易な理由で決めようとしていないか？

## <議論が行き詰まったら>

チューターの出番です。

ただし、チューターは、正解を教えてくれる人ではありません。

チューターは、議論が大幅に脱線してしまいそうなときには、警告を出します。

また、メンバーが議論の仕方がわからないときは、そのやり方を教えます。

チューターはみなさんの先輩です。みなさんよりたくさんの経験を積んでいます。

チューターの経験を聞くことによって、新しいアイデアが浮かぶかもしれません。

## 【他のグループの発表を評価する時のポイント】

他のグループの発表を評価する際には、下記のポイントに注目して評価しましょう。

また、自分たちのグループの発表と比べてみるのもよいでしょう。

- 手引の形式を満たしているか？
- 有意義な学生生活を送るための手引(講義・実習版)として妥当な内容か？
- 講義を楽しむ要素があるか？
- 文章・文言・イラストなどが美しいか？
- 発表の明瞭さ、わかりやすさはどうか？

## 【発表討論会の進め方】

投票の結果、上位3グループと、チューターに一番選ばれた1グループの合計4グループを選出します。

### 概要説明

司会より進め方の概要、注意点説明。(10分)

↓

発表(1グループ約7分。2グループ15分以内)

↓

### 討論

各グループ内で発表された内容について討論(5分程度)

発表したグループに質問、意見発表(15分程度)

上記を2セット行う。

↓

### 総評

## ◆ 学外合宿のようす ◆

<開会式・学生生活を始めるにあたって>



<救急蘇生体験学習(講座・実習)>



<グループ別討論>





<懇親会>



<グループ別討論のポスター投票>



< 発表討論会 >



<平成 29 年度 新入生学外合宿 集合写真>



# ◆ グループ別討論 ポスター ◆

グループ①

## よりよき医療人とは... 1班

- 患者の精神的ケアができる。
- 確かな技術を持って患者に最善の治療を施す
- 自らに自信を持って冷静に判断できる。
- 患者や医療従事者との連携を図ることが出来る
- 広い視野情報を持つ。
- 患者に耳を傾け、円滑なコミュニケーションがとれる

そのために...

### 知的好奇心をくすぐる魅力的な授業

- 短格的な知識だけでなく、本質的
- わかりやすく要点が明確
- 患者や手技にふれあう参加型の実習
- 多角的に思考し、意見を発信し合う

### 自らに求める能力

- 課題を見出し解決する
- 得た知識や経験を自分ものにす
- 能動的に学習し、臨機応変に対応する

私たちは...  
技術と知識を兼ね備え、  
患者寄り添い、信頼される医療人を目指します!

グループ②

## コミュニケーション

- ・医療ボランティア活動に参加する。
- ・積極的に部活動に取り組む。

### 信頼性

- ・自分も含めたチーム医療のメンバーの長所と短所を把握する。

### 責任感

- ・ミスの起こる状況を設定して実習する。

### 抱負

私たちに医学生・看護学生は、将来人の命を救う立場にあります。人の命を救うということは「身体的」は面だけだけでなく、「精神的」な面でも救うことです。そのためには医療技術の向上はもちろんのこと、上げ挙げたような技術以外の点についても深く理解し、そして生涯学び続けたいと思います。

### 理想の医療人像

Group 2

### 判断力

- ・現場を想定した実践的な授業
- ・いくつかの症例を矢印、判断しようとする意識を持つ。

### 教養

- ・英会話・社会学・宗教学などの見聞を広める。

グループ③

## よりよき医療人になるための手引き

### 1 知識

あらゆる治療法の提供と説明  
↓  
自分で説明できるように習得

### 2 多文化交流

ライフスタイルに合わせた治療法を提案  
↓  
様々な食生活に信仰

### 3 コミュニケーション

患者に合わせた環境作り  
↓  
合同授業に積極的に参加

## 抱負

① 経験豊富な人に盛り込む  
② 1つの知識に対する背景知識

① 宗教を学ぶ機会を増やす  
② 宗教上の食文化のタブーを理解

講義では、知識の完全理解を目指す。実習では治療に必要なスキルを習得し、患者とのコミュニケーションを積極的に行い、学外では、色々な世代の方と関わることで、コミュニケーションだけでなく多文化の理解を目指す。

グループ④

## “よりよき医療人”になるには グループ④

授業や先生に何の期待をおもいますか?

実習を増やしてほしいです!  
友人と話し合う機会がほしいです!  
授業の中で体験談を話してほしいです!  
研究や改善中の新しい情報を教えてほしいです!

学年全体の雰囲気作り、  
他人の理解につとめる!  
授業を真面目に受ける!  
命を救うことは今やる!!!

- 一 積極的に取り組む
- 一 助け合い精神を大切に
- 一 自分に厳しく

グループ⑤

## 医学生・看護学生の引き

### 1. 良き医療人とは？ 5班

- 高度な技術と豊かな知識を持つ人
- 患者と相互にコミュニケーションを行える人
- 社会が必要とするものに応える人

### 2. 講義や実習に期待することは？

- 多くの知識を得るために深い内容まで話してくれること
- 実際の現場に触れて医療現場における経験値を得ること。

### 3. 目標を達成するためには？

- 緊張感を持って講義や実習に取り組む。



グループ⑥

# SUPER MEDIC

良き医療人とは…  
**信頼される人**

### 現場

医療ミス

- 多職種間で壁を無くして情報共有しようや!!
- 互いの専門性を尊重し合おうや!!

### 学校生活

高校までの授業よく眠ってた…

↓

現役の臨床医である知生方から、実際の現場の話が聞きたいねん!!

**そのために！**

コミュニケーションを積極的にとんで!!

積極的に学ぶ意志をだせんで!!

**初心を忘れず 信頼を築け!**

by 6

グループ⑦

## より良き医療人になるために

① 学生生活

① 活動で役職につく。つけなかった人は積極的に役職のサポート。

② 実習でクジでリーダーを決めてほしい。

③ 自分で進んでリーダーになる。責任感をもち。

② 講義と実習

① 解剖実習で命をあずかっている意識をもつ。

② 患者さん、家族の話を聞く機会がほしい。七くなった話とかも。

③ 人が亡くなる悲しみを忘れずに、心にとどめておく。

③ 約束事

① 意識して発言につける

② 困っている人に積極的に手をさしのべる

③ 相手の立場に立って常日頃考える。一日一善。

**リーダーシップ**

**命の重要性**

**コミュニケーション能力**

**思いやり**

グループ⑦

グループ⑧

## グループ⑧ 私たちのマニュアル

① コミュニケーション力 Up!!

② 知識力 Up!!

③ グローバル力 Up!!

- 色々な角度から物事を考えられる
- 決断力が養われる
- 臨機応変な対応ができる
- 信頼される
- 患者さんの気持ちが分かる
- 不安を取り除ける
- チーム医療が円滑に行える
- みんなが笑顔になれる 😊
- 海外の医療技術を取り入れられる
- 貧困地域の人を救える

授業はまじめに!!  
色々な事に興味を持つ!!  
経験も積む!!

① コミュニケーションがあれば…

- 信頼される
- 患者さんの気持ちが分かる
- 不安を取り除ける
- チーム医療が円滑に行える
- みんなが笑顔になれる 😊

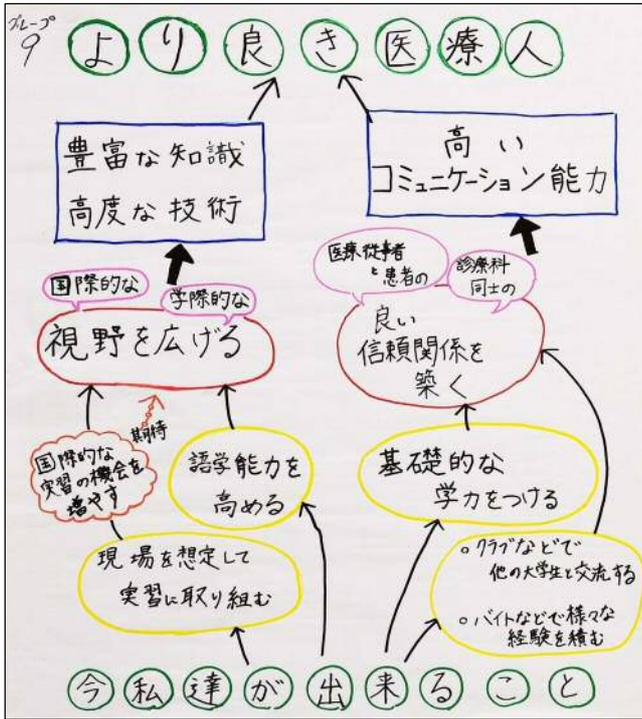
② 知識があれば…

- 実習がスムーズに行える

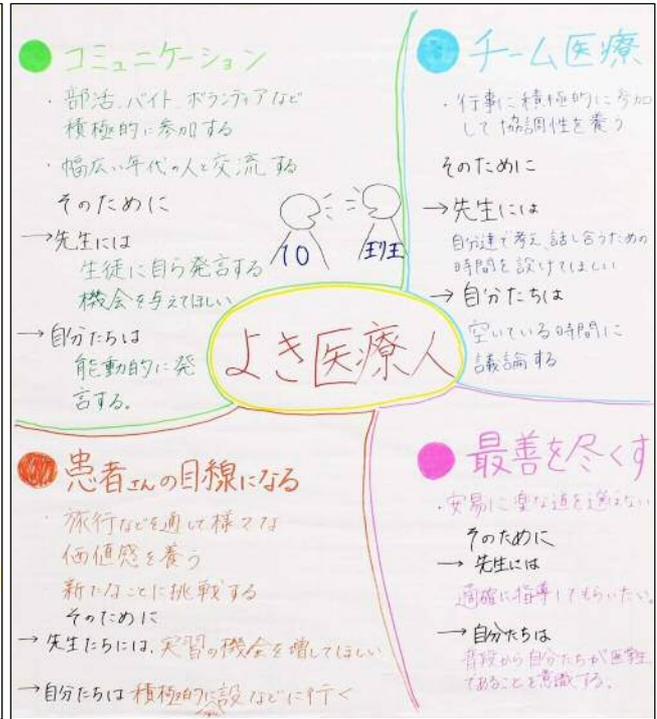
③ グローバル力があれば…

- 海外の医療技術を取り入れられる
- 貧困地域の人を救える

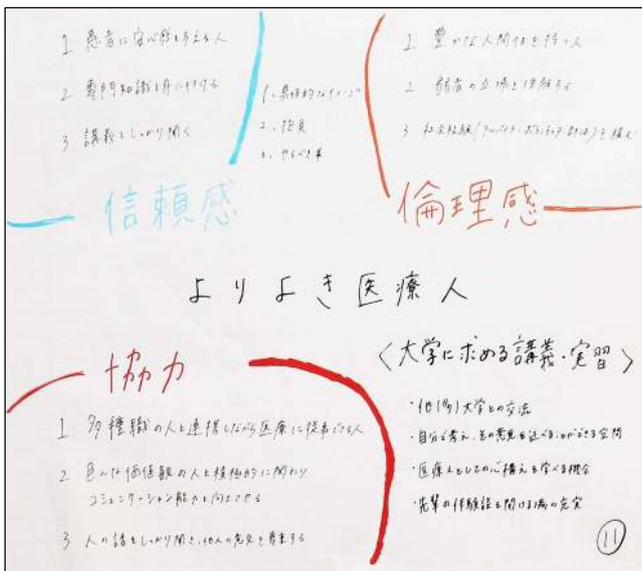
グループ⑨



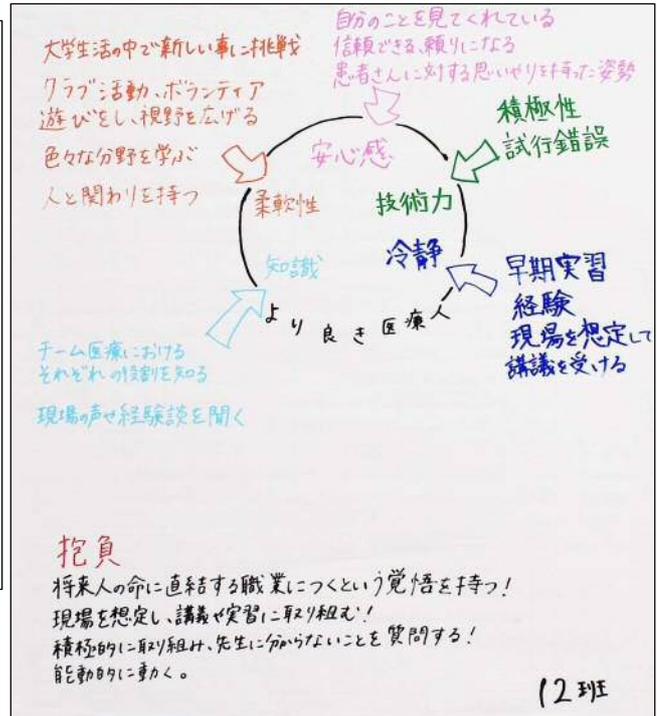
グループ⑩



グループ⑪



グループ⑫



グループ13

## ⑬ よりよき医療人を目指して

常に倫理を考える

**知識・技術の向上**

- 体づくり (集中力の維持)
- 精神力
- 医者融合の学習 (医師の相互理解)
- 幅広い教養 (いろんな人と触れあう機会を増やす)
- 部活動
- アルバイト
- ボランティア

**患者さんに向きあう**

- 人を楽しませる (音楽、落語、演劇)
- 目を見て話す (立場や年代に合わせた話し方)
- いろいろな人と関わりたい (松本さん)
- いろいろな人と関わりたい (松本さん)

分類の説明

- 将来どのような医療人になりたいか
- 学生生活をどのようにすごしていくか
- 方策・講義や実習に対して期待すること

● 私たちの意気込み

規律を守り  
学習・部活動・課外活動 全てに全力で取り組む

2017. 4. 7

グループ14

## 14 チーム医療

1 尊敬される医師 + 尊敬される看護師

技術 + 思いやり

- 国際的な視野をもつ
- 患者さんの立場になって考える
- 英語
- 相手が求めているものが分かる
- アンテナを広くもつ
- また事ないことに挑戦する

人とAIの技術の連携

そのための

- Active learning (グループでの授業)
- プレゼン能力向上 (発表)
- 英語力向上 (英語)
- 英語力向上 (英語)

③ 他国にこの技術を移植する

④ 医師と看護師の連携

⑤ 医師と看護師の連携

⑥ 医師と看護師の連携

グループ15

## なりたい医療人の姿

### 15

より良き医療人とは

- 患者さんの立場になって考えられる人
- チーム医療も実践できる人

大学に期待すること

- 現場を見て学べる環境作り
- コミュニケーションスキルの育成

大学生生活の抱負

- 幅広い分野への関心を持つ
- 人の話をよく聞く

医師看護師になった際の信念

# 至誠仁術

グループ16

## 私たちの考える医療人!

- 様々な人とコミュニケーションがとれる人
- 知識・技術を持つ人
- 患者さんとの信頼関係を築ける人
- 患者さんの立場になって思いやりを持つことができる人

そのために...

- 部活、バイトなどを通じて交友関係を広げる。
- 自分の行動に責任を持つ。
- 自分から能動的に行動し、意見を言う。

受けた講義

- 自分たちで進める授業
- 医者融合の授業を増やす

受けた実習

- 病院以外の実習も経験する。
- 学校内で動物を飼って、命に触れる。

宣言します!!!!!!

- 授業をしっかりと大切に受けます
- 予習・復習もしっかりします!!!
- 不正行為をしません!!!

# 16 班

グループ17

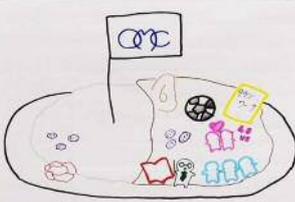
# Osaka Medical Curry 17

～作り方～

- ① 全ての授業に出席し、分からないときは先生に聞く。
- ② ①で得た知識を用いて**実習**に挑戦する。  
※患者さんの悩みや気持ちを理解し、思いやりの心を育む。
- ③ たくさんの人とコミュニケーションをとって、自分には無い考え方や発想を得る。
- ④ 世界に目を向ける。  
語学留学、外国の方とのコミュニケーション。
- ⑤ 今日**仲間**と語り合ったときの気持ちで忘れずに。
- ⑥ お好みに、**バイト**、**恋**を経験する。
- ⑦ ①～⑥を合わせてできあがり!!

**材料 (1人分)**

- 知識
- 思いやり
- コミュニケーション力
- 実習
- 経験 (部活 バイト)
- 先生
- 仲間
- 恋 (お好みぞこ)



グループ18

# 待ってる! 未来

18班

**理想の医療人**

- ストレス発散方法の確立
- 自己管理が出来るとなる
- 仕事を楽しいやりの見出す
- 思いやりを持ち見返りを求めない
- 医師、看護師としての自覚
- 一歩を踏み出す勇気
- 医療系への注目を引きつける
- 集中力がある
- 医療の変化に対応する

無医村問題の解決  
学生としての自覚

期待している  
早い段階から疑似体験  
赤裸々な実体験  
模擬診察  
病院見学  
病院清掃ボランティア  
過去の医療ミスの検証  
医療記事のプレゼン  
趣味を見つける

先生とのディスカッション



グループ19

# 安心

**医療スタッフ** ↓ **患者さんの理解**

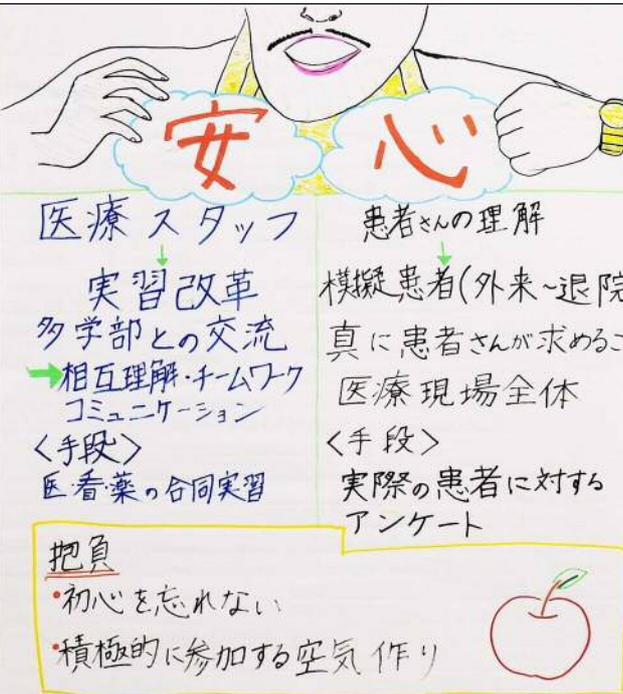
**実習改革**  
多学部との交流  
相互理解・チームワーク  
コミュニケーション

＜手段＞  
医・看護の合同実習

**抱負**

- 初心を忘れない
- 積極的に参加する空気作り

模擬患者(外来~退院)  
真に患者さんが求めること  
医療現場全体  
＜手段＞  
実際の患者に対するアンケート



グループ20

# 理想

- コミュニケーションを通じて信頼される医療人
- 正しい判断を素早く、正確に下す医療人
- 最新の医療に関する知識と実践できる医療人

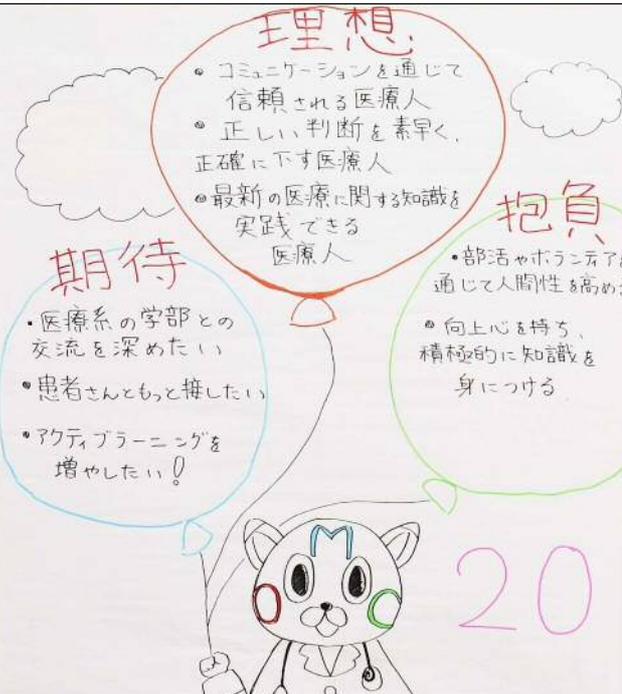
**抱負**

- 部活やボランティアを通じて人間性も高める
- 向上心を持ち、積極的に知識を身につける

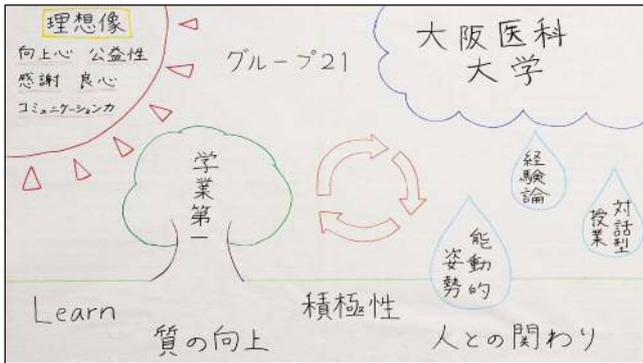
**期待**

- 医療系の学部との交流を深めたい
- 患者さんともっと触れたい
- アクティブラーニングを増やしたい!

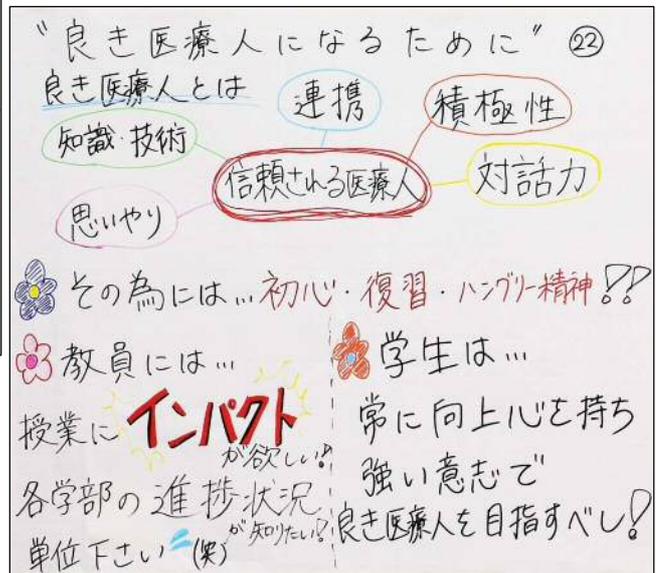
20



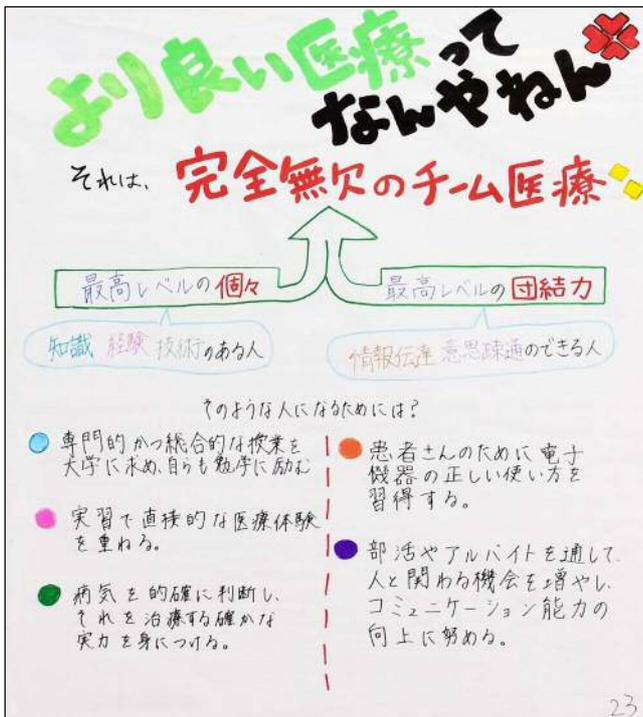
グループ⑳



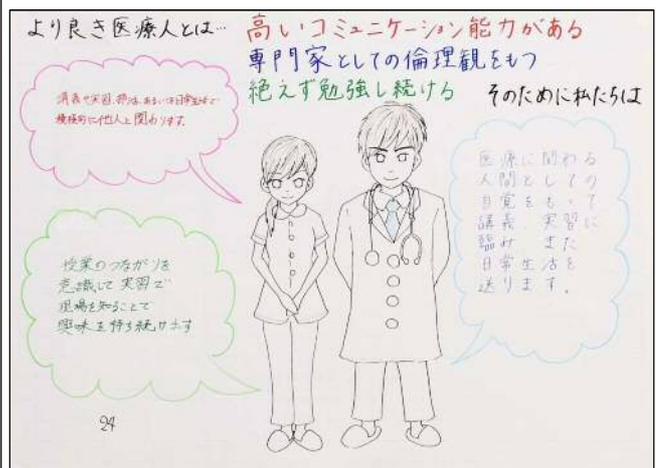
グループ㉑



グループ㉒



グループ㉓



グループ②⑤

将来どのような医療人になりたい?		貪欲に学び続ける
<p>多様な人々とのコミュニケーションに長ける</p> <p>患者さんの気持ちを理解する</p> <p>人生経験を豊かにしておごらない</p> <p>バイト・部活 地域ボランティア 留学(感性を豊かに) 周囲への感謝と思いやり</p>	<p>同じ医療人との</p> <p>自分の役割を全うし、他科、他職種と連携協力し合う</p> <p>自分の意見を言う 自分の行動に責任をとり</p> <p>他大学との交流 無遅刻 グループ内での積極的な発言</p>	<p>高い意識を持ち、古きに捉われず、最先端の医療を学び続ける</p> <p>学生のうちに、学ぶ姿勢を養う</p> <p>授業の予習・復習 実習前のシミュレーション 授業への出席 医療ニュースに対する興味 留学(最先端医療の知識を学ぶ)</p>
<p>期待すること</p> <p>現場の厳しさ、上下関係、リアリティを実習で体験する機会を増やしてほしいです!!</p>	<p>抱負・意気込み</p> <p>医療人として今の志を胸に刻む!!</p>	

グループ②⑥

## 良き医療人

### 探究心

- ・新しいことに挑戦する
- ・広い視野をもつ
- ・積極性・主体性をもつ
- ・疑問を残さない

### コミュニケーション能力

- ・他人の気持ちを理解する
- ・信頼関係を築く
- ・正確な情報の共有
- ・対等な意見の交換

の両方をそなえる。

そのために…

- 学生同士で協力し合い、試験や課題に取り組み、お互いを高め合うこと
- ボランティア等の社会活動を通じて多くの人と交流をもつこと
- 教師に積極的に質問し、それに対し教師も熱心に対応すること

が必要。

グループ②⑦

## 医療人になる自覚を常に持つ。

### 理想

- ・患者さんの気持ちを理解できる
- ・精神面のケアができる
- ・チーム医療に携わる全ての人々をよく理解している

### 必要

- ・他学年・他学部(他大学)との交流
- ・患者さんと話す機会
- ・社会経験を積む
- コミュニケーション力の育成

### わたたちがすべきこと

- ・弱点の把握
- ・予習(イタリ)・復習(反省会)を徹底
- ・目で見ただけでなく、実際に書いてみる。



グループ②⑦

グループ②⑧

## より良き医療人になるために

### 医療人としての知識

- 一般教養としての語学で海外の人と話せる力をつける

### 話し方

- 色々な人と話せるように話題の引き出しをつける

### コミュニケーション能力

- 様々な人に対応できるように多くの人とぶれあう

### 気付き

- 患者の立場に立つことが出来る
- モチベーションを持ちつづけることのできる興味深い講義が必要
- 理想像をつくる努力をする

### 向上心

- 精神的に疲れないように、頑張れるような実習が必要

### 体力・精神力

- 部活や趣味など17種の方法と作る

↓ 達成 ↑

②⑧

## 医学生看護学生の引き

コミュニケーション能力がある

聞く力があり、話しやすい

① イメージ

信頼できる

視野が広い



② 期待すること

- 人脈を広げる機会
- 早期からの実習
- 教科書以外の先生方の経験に基づいた話

③ 我々の抱負

課外活動などを通して患者様の目線に立つことを意識する。

④ 自分で行わなければならないこと

この先、さらに進歩する医療技術を医療人である限り、生涯学習し、自分のものにできるように努力する。

29班一同

## 患者様の心のケア

### 寄り添う医療を目指して

**チーム医療**

他学の知識をつけたい

▽

薬学部の先生や生徒との交流

▽

講演→実習の段階をつけてほしい

▽

積極的に関われるように  
⇒ 早期体験実習、ボランティア

▽

**〽️ 覆面座談会**

**“より良き医療人”**

**相手の立場に立って考える**

---

**教養**

言語学

文学全集

人との交流

人間力

心理学

哲学

宗教

定期的に大切さを喚起「30」

コミュニケーションスキル

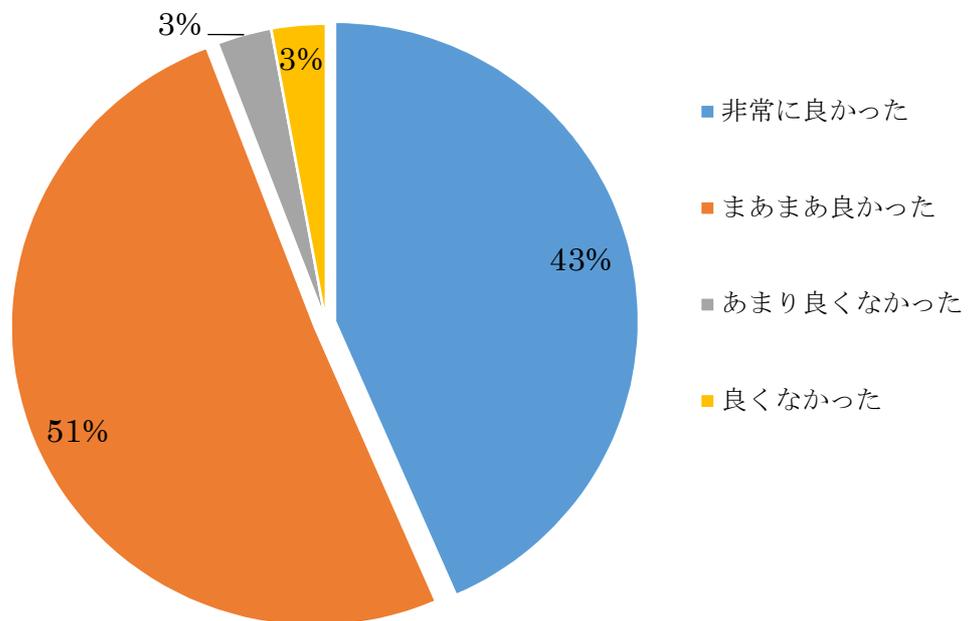
英語

## ◆ 参加者アンケート結果 ◆

新入生学外合宿での体験を振り返って…

### <医学部学生>

#### 1. 与えられた課題の内容はどうでしたか？

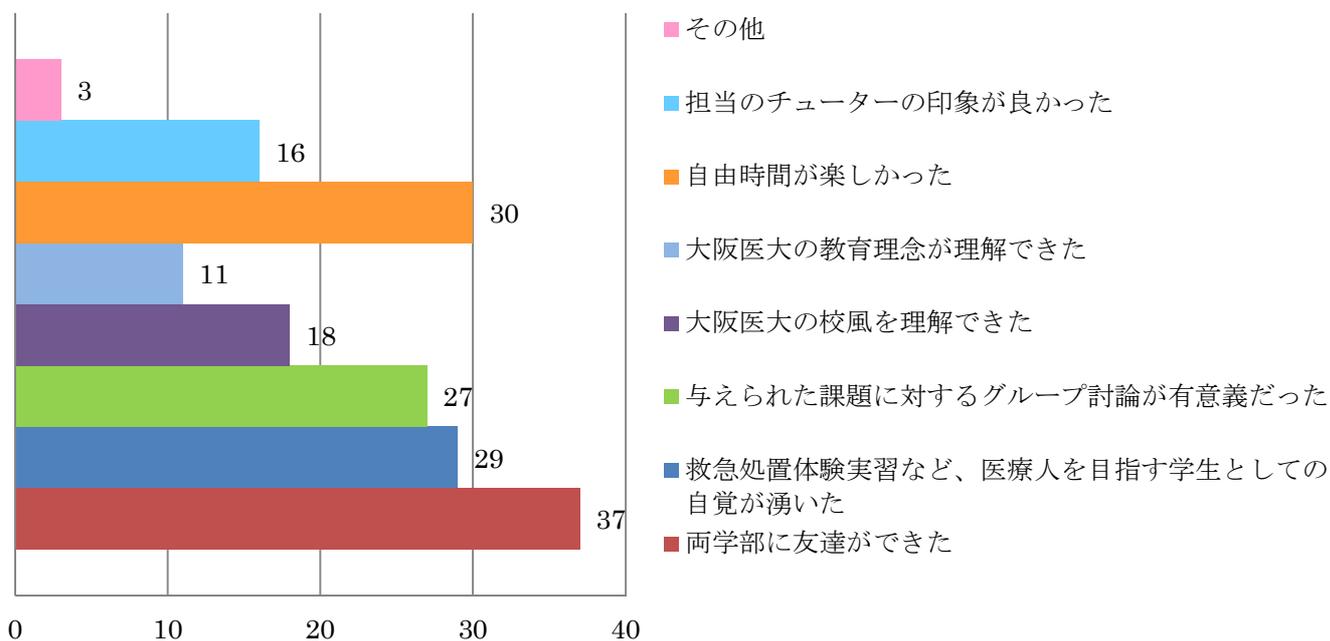


※ 「あまり良くなかった」「良くなかった」を選んだ方は、どういった内容の課題の方が良かったでしょうか。

何かふさわしい課題名(タイトル名)等があればお聞かせください。

- もう少し課題の具体性がほしいです。
- 詰め込みすぎと感じた。もう少し学生側でふくらませる余地があってもよい。
- ポスターの掲示場所が悪すぎます。

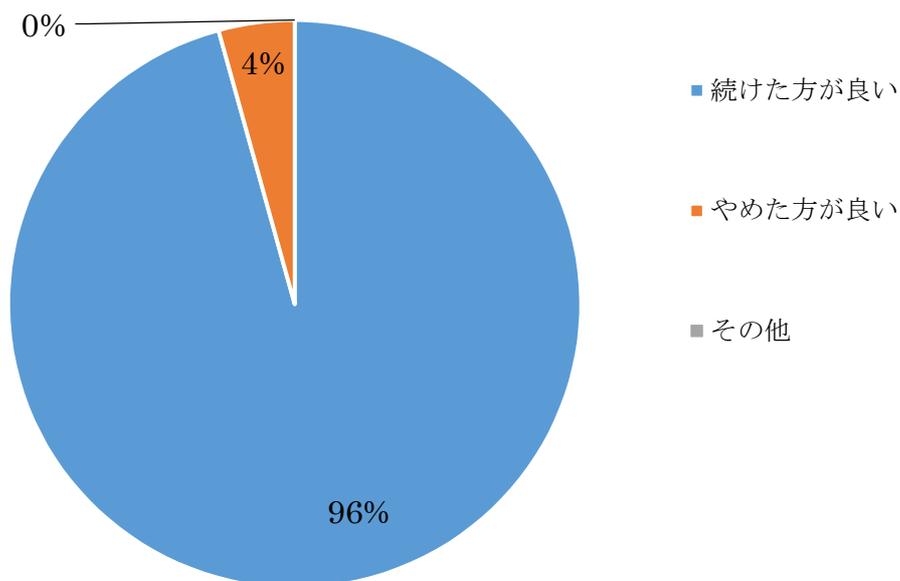
## 2. 印象に残っていることは？(複数選択可)



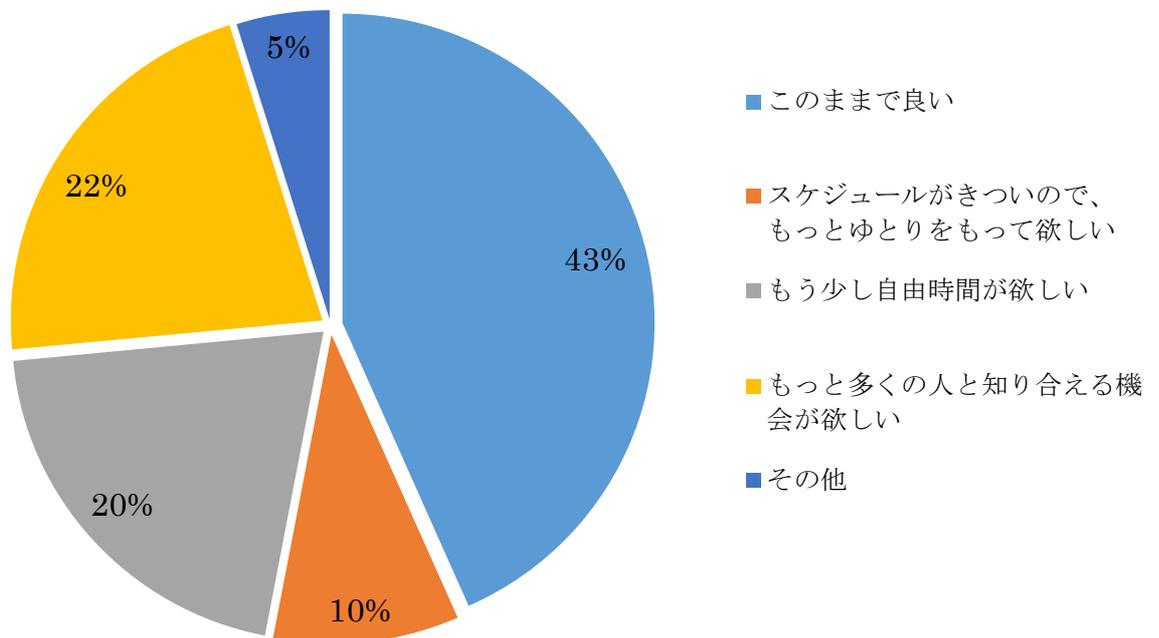
### <その他の意見>

- ・想像以上に医看間の空気に差があった。
- ・ホテルの食事がすごくおいしかった。食事テーブルで友達がたくさんできた。
- ・ポスター作りが楽しかった。

## 3. 来年度も新入生対象に、この合宿を続けた方が良いと思いますか？



#### 4. 来年度以降どのような新入生学外合宿にしたら良いと思いますか？



##### <その他の意見>

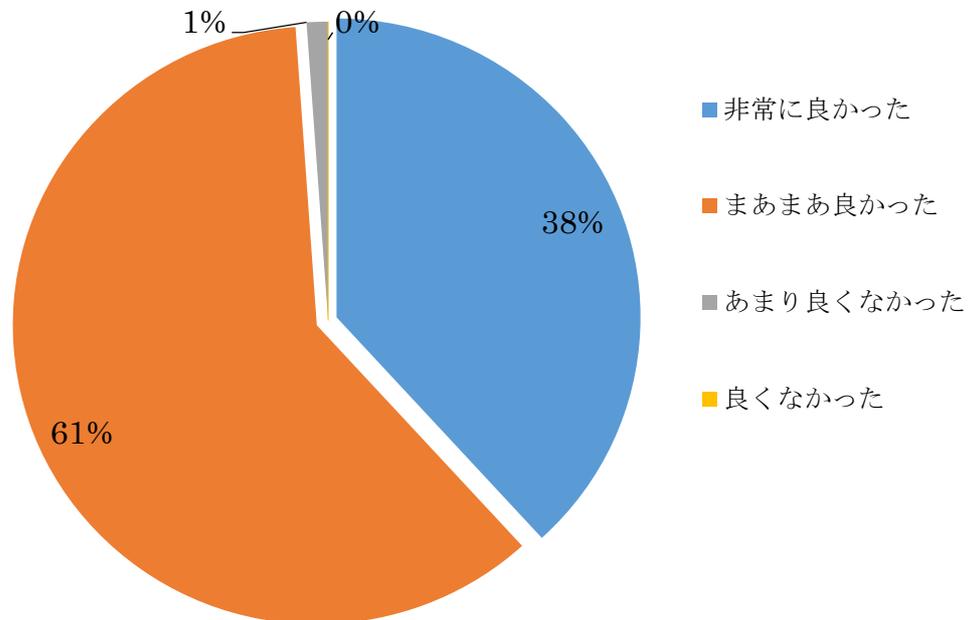
- 看護学部の人ともっと仲良くなりたい。
- 4泊5日にすればいいと思う。
- 淡路島である必要はない。
- 合宿場所が豪華すぎた。ウェスティンでなくていいので、学費を安くしてほしい。

#### 5. 医学部・看護学部の両学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

- 医学、看護学部の交流ができて良かった。
- 看護学部の子達と仲良くなれて楽しかったです。
- 楽しかったです。
- ご飯が美味しかったです。
- 以前やられていた、カレー作りも楽しそうだった。
- 全体的に話を聞く時間や待ち時間が長く、もう少し交流に時間を充てた方が有意義だと感じた。
- 医学部同士での自己紹介の機会がほしい。

## <看護学部学生>

### 1. 与えられた課題の内容はどうでしたか？

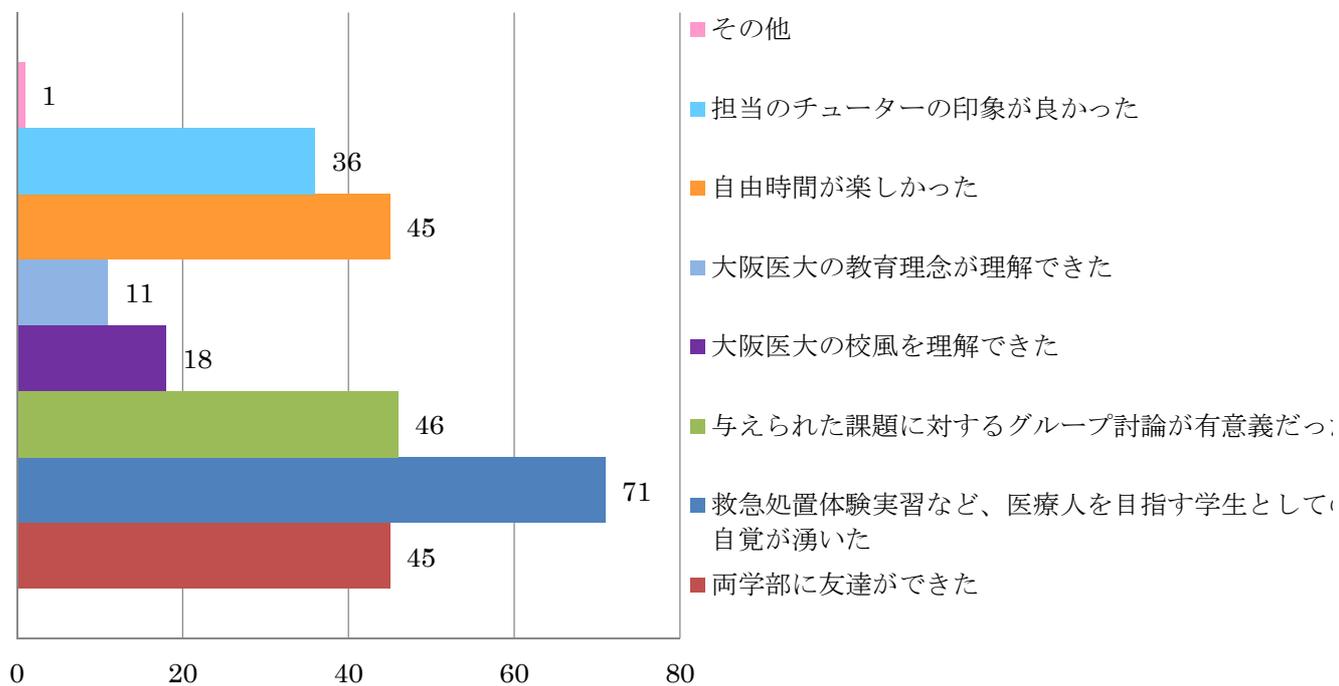


※ 「あまり良くなかった」「良くなかった」を選んだ方は、こういった内容の課題の方が良かったでしょうか。

何かふさわしい課題名(タイトル名)等があればお聞かせください。

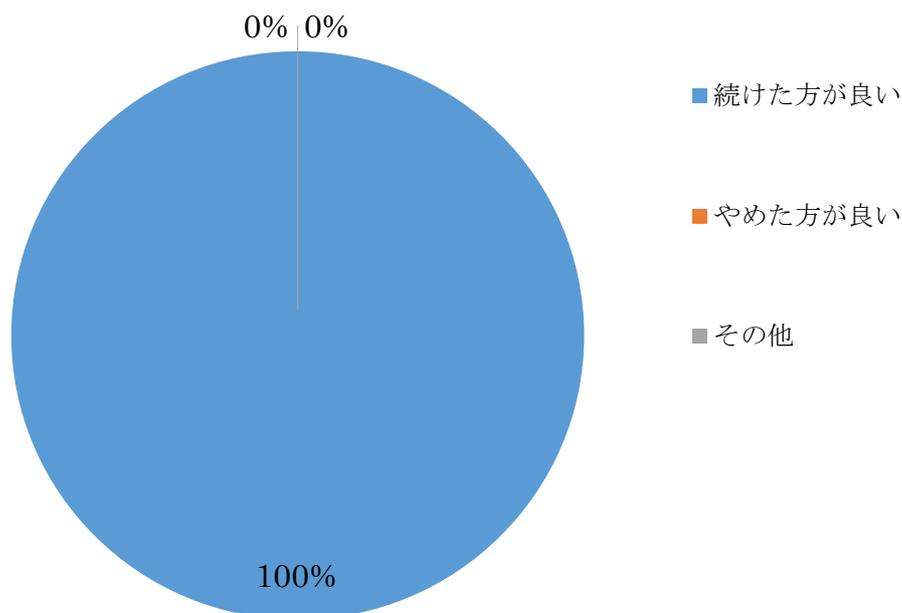
・タイトルではありませんが、理想、抱負などの環境線が少しわかり辛かったです。

## 2. 印象に残っていることは？(複数選択可)

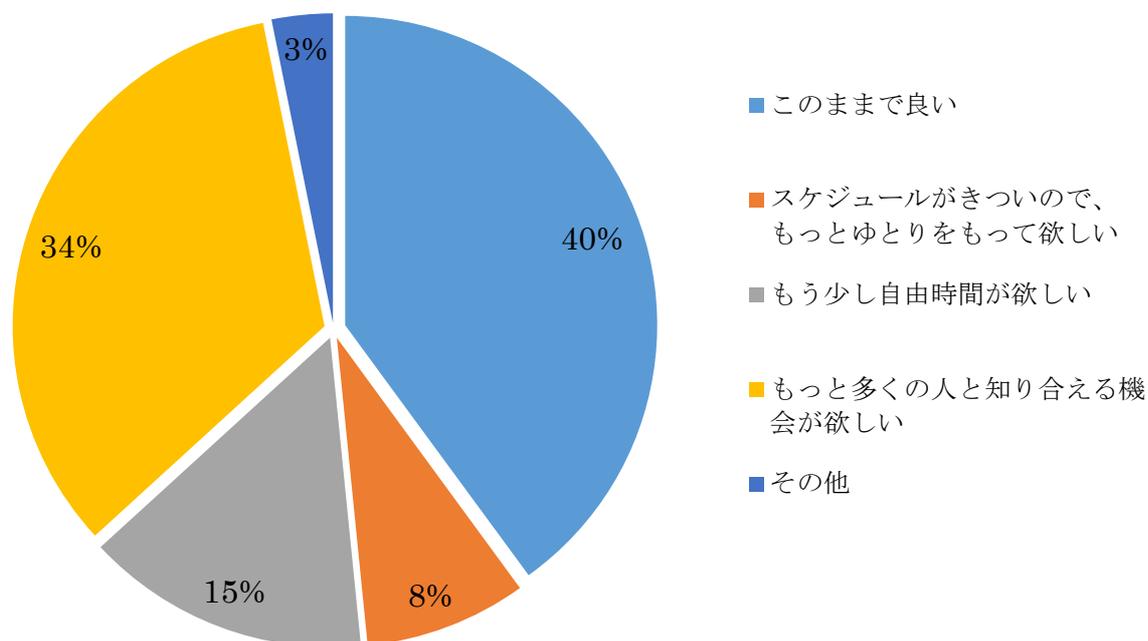


<その他の意見>  
 ・友達になりました。

## 3. 来年度も新生対象に、この合宿を続けた方が良いと思いますか？



#### 4. 来年度以降どのような新入生学外合宿にしたら良いと思いますか？



##### <その他の意見>

- ・観光時間がほしい。
- ・全員同じ部屋にしたら良いと思います。
- ・座っている時間が多かった。

#### 5. 医学部・看護学部 of 両学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

- ・グループ討論で活発な意見交換ができてとても楽しく考えが深まった。
- ・グループ討論だけでなく、懇親会も医学部、看護学部で交流したいです。
- ・異なる医療職を目指す者同士で討論することで、視野の違いと互いをどう理解すればよいかのイメージがついた。
- ・人それぞれ意見が違うので、様々な視点の考え方を知れてよかった。
- ・色々と意見を言い合いわいわいと楽しかった。役割をグループ内で初めたことも良かった。
- ・自分と違った志を持っている人と意見交換ができて刺激を受けた
- ・医師と看護師、両方の視点から意見を言い合えたのはよかった
- ・しおりに書いているグループワークの進め方の表記をもっとわかりやすくしてほしい。細かく書きすぎている。もっとグループ内で自由な発想をしたい。
- ・両学部合同で行ったことで、普段話す機会のない人たちと話すことができよかった。
- ・両学部合同で行うことでより視野が広がり、医療人としての自覚が持てたと思う。

- 両学部で友達が新しくできて良かった。
- 両学部で係りをつくるきっかけとなったので、とても有意義な時間を過ごせたと思います。
- 学部内にも違う学部にも友達が出来て良かった。医療人を目指す者としての自覚を持ち続けようと思った。
- もっと医看での合同プログラムがほしい。食事の栄養バランスを考えてほしい。
- 医学部の人の考え方を聞いてとても新鮮でした。
- 医学部の人の考え方や自分にはない意見が聞いてよかった。
- 医学部の人の意見を聞けたり、仲よくなれたりして良かったこと。
- 医学部がいっぱいやってくれた。
- 医学部にも友達っぽい人ができたので、すごく良いと思います。
- 医学部の人と交流する機会が普段あまりないと思うので、グループ討論の時に話ができ良かったです。
- 医学部の子の発言が賢くてすごいなあと思いました。患者様のためと思う気持ちは同じっていうのがわかったことが嬉しかったです。
- これからの4年間のしんどい側面が垣間見えた気がした。医大で学ぶとはこういうことだと覚悟が決まった。また医学部生が発する言葉は私が普段使用しない(理解はできる)言葉で学識の高さが伺えた。彼らと肩を並べられる程度にはしっかりと勉学に励みたい。
- 医学部生との交流をもっと増やしてほしいかったです(泣)。討論会で同じグループになった4人としか喋れなくて残念でした。
- もう少し多くの人と話したかった。(特に医学部)
- 学部内での友好関係も深まり、また救急処置体験から医療人になるんだという実感がわいた合宿でした。
- 友達も幅広く増やせたと思うのでよかった。
- これからの学生生活をこの少人数で送るにあたって、とても良い合宿であったと思います。
- 話すきっかけができて、仲良くなりやすくなるから良かったと思う。
- ご飯がすごくおいしくて、幸せでした。
- 固い感じの食事よりBBQなどの方が多くの人と知り合えたり、仲よくなれる気がします。
- 特に意見らしい意見はないが、敢えて言うならもう少しきつても良いかもとは思った。
- 充実していたが、終始疲労で眠かった。
- とても楽しかったです。
- 楽しかった！友達が増えた！